



企業プロフィール

- 設立：2003年
- 事業内容：神戸市、明石市、尼崎市で6店舗の美容室を経営
- 従業員数：53名（2015年10月現在）
- 年次有給休暇の取得率：50%
- 年間休日数：82日
- URL：http://www.chikara-co.jp/

失恋休暇、誕生日休暇



リフレッシュの
ための休暇制度

独自の休暇制度が順調に機能している 秘訣は、社員に理念が浸透していること

ポイント

- ① 全国的にも珍しい失恋休暇を導入
- ② 誰かが休んでも他の職員がカバーする「お互い様」の気持ちを醸成

株式会社チカラコーポレーションは、神戸市などに全6店の美容室を展開している。顧客への質の高いサービスの提供は、美容師一人ひとりが安心して技術を磨き、やりがいを持って働ける環境があってこそ、との考えのもと、よりよい労働環境を追求しながら規模を拡大してきた。

今回は代表取締役の西 靖晃さんに、同社のユニークな休暇制度について説明していただいた。

目標は「業界一、働きたい会社」

「美容業界で一番働きたい会社になること」。これがチカラコーポレーションの目指すところです。

毎年多くの若者が美容学校を卒業して働き始めますが、その後10年間美容師を続けることができているのは10%に満たないと言われています。好きで志した仕事を離れる理由はさまざまですが、古くからの徒弟制度がまだ多くの職場に見受けられたり、美容室の多くが個人事業として営まれており、長時間労働が頻繁な職場があったりと、長く働ける環境が整っていない職場が多いことも要因と考えられます。

また、美容師免許の取得者は女性が8割と、圧倒的に女性の多い業界です。その中には、出産・育児との両立が難しくなり仕事を続けることをあきらめる美容師もいます。

プロとして技術を高め、長く働き続けるには、どういふ会社にしたらよいか。当社はそれを探ることから出発し、みんなで追求してきました。例えば、納得できる給料とするための評価システムの構築や年4回の昇給のチャンス、出産・育休後に本人の希望に沿った働き方への柔軟な対応、健康対策として食事提供などを行うとともに、年次有給休暇以外の当社独自の休暇についても充実させてきました。

社員の気持ちに寄り添う休暇制度

なかでも、珍しいと言われる制度が、2011年10月からスタートした失恋休暇です。美容室は週末が忙しく、また若いうちは特に勉強に時間を費やしますから、恋愛がうまくいかないこともあります。そんなことから私が発案し、取り入れた制度です。日々仕事に打ち込んでいる社員の気持ちを理解し、つらいときは応援したいという思いがきっかけでした。

失恋したので休みを取りたいと店長に願い出ることで、20代前半は1日、20代後半は2日、30歳以上は3日休むことができます。インフルエンザやケガなど、仕事を休まざるを得ない事態は誰にも起こり得るわけですから、失恋して1日、2日の休みに対応するのは大したことはありません。休んでも誰かがカバーする、助け合うことができる仕事の仕方を日頃からしていますので、そうした中で「お互い様」という気持ちが醸成されていると思います。しかし、取得者はこれまでに3人と思っていたより少ないです。

また、会社からのプレゼントと考えて誕生日休暇を設けました。誕生月に1日休みが取れます。入社当初の2ヵ月の試用期間があげると取得できるものです。

一方、年次有給休暇は、年間10日以上取得することを促しています。しかし、経験の長い美容師ほどお客様の指名が多くなり、なるべく休まない働き方をしてしまいがちです。そこで、長く勤めている社員が年次有給休暇を取得しやすいように勤続5年目に年次有給休暇を連続で12日間取得することを奨励する方針を打ち出しました。年次有給休暇が12日間残っていない場合、有給の特別休暇であるリフレッシュ休暇を追



お話を伺った西代表取締役

加して12日間の連続休暇を取得できる制度としています。以降、2年ごとに12連休を取ることを奨励しています。毎年仕事始めに、その年にこの休暇を取得できる社員の名前を全員の前で発表することで12連休の取得を促し、取得率はほぼ100%です。取得する際は、3ヵ月ほど前から予定を明らかにして、スケジュールを調整して休みます。

対象者は各店舗に毎年1人いるかないかくらいですから、特に問題もなく機能し、利用した社員はほとんどが海外旅行をしているようで、お土産を持って、楽しかったと帰って来て、元気に働いています。この制度だけの成果とは言えないでしょうが、長く働く社員が増えているのがうれしいことです。

一人ひとりが自覚して仕事に臨む

これらの制度がうまく機能しているのは、当社の仕事に対する考え方を社員が理解し、それをベースにして自覚を持って仕事に臨んでいるからだだと思います。その考え方とは、「お互い様」という気持ちをもって、助け合えること、その自覚が一人ひとりの成長につながり、会社全体の成果にもつながるということです。まだ若い会社ですが、さらに研鑽し、定年まで皆が働きたいと思い、働ける会社になりたい、この会社で働いたことが人生最良の選択であったと社員が思えるような会社にしていきたいと考えています。

休暇制度 利用者の声

失恋休暇は、これまでに男性社員3人が取得しました。失恋ではなく、いずれも離婚が理由で、「取得できますか」と遠慮がちに申請があり、もちろん承諾しました。いろいろな手続きや引越

しをする時間が必要だったことから取得したと言います。後日、「助かりました」という声が聞かれました。

(代表取締役 西 靖晃さん)